

## 『先端計測で活躍する超伝導検出器、集合！』

冷却が必要な超伝導検出器ですが、冷却というデメリットを遙かに上回る性能から、様々な分野への応用が進んでいます。今回の研究会では、多種多様な超伝導検出器について、その基礎となる動作原理、実際に最先端の計測技術としてどのように活用されているのかご講演いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



参加申込みフォーム

- 主催: 応用物理学会 超伝導分科会
- 協賛: 低温工学・超電導学会、日本物理学会
- 日時: 2022年7月21日(木) 13:00 ~ 16:25
- 場所: オンライン開催

プログラム（講演タイトルは仮題を含む）		
13:00~13:05	開会挨拶	超伝導分科会幹事長
13:05~13:35	可視光・近赤外用超伝導転移端センサの開発	服部 香里 (産総研)
13:35~14:05	連続量光量子情報処理に向けた超伝導ナノストリップ型光子数識別器	遠藤 護 (東京大)
14:05~14:35	超伝導トンネル接合X線検出器を搭載した走査電子顕微鏡の実用化に向けて	藤井 剛 (産総研)
14:35~14:50 休憩		
14:50~15:20	磁性薄膜によるホットエレクトロンボロメータミキサの高性能化	川上 彰 (情報通信機構)
15:20~15:50	2030年代のミリ波サブミリ波電波天文学に向けたSIS受信機の技術開発	小嶋 崇文 (国立天文台)
15:50~16:20	MKIDを用いたCMB偏光観測実験GroundBIRD	鈴木 惇也 (京都大)
16:20~16:25	閉会挨拶	超伝導分科会幹事

参加費（当日受付、消費税込、資料代込）：超伝導分科会会員 2,000 円、応用物理学会および協賛団体会員 3,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,000 円

申し込み方法：(1)所属、(2)氏名、(3)連絡先(TEL, E-mail)、(4)会員種別を明記の上、7月15日（金）までに超伝導分科会 HP 内<<https://annex.jsap.or.jp/support/division/super/>>の研究会参加申込フォーム（上記のQRコード）からお申し込み下さい。資料等の準備がありますのでなるべく期日までにお申し込み下さい。

申込・問合せ先：田井野徹（埼玉大） TEL: 048-858-3899, e-mail: taino@mail.saitama-u.ac.jp

寺井弘高（NICT） TEL: 078-969-2191, e-mail: terai@nict.go.jp

町 敬人（AIST） TEL: 029-861-8264, e-mail: t.machi@aist.go.jp

寺西 亮（九州大） TEL: 092-802-2970, e-mail: teranishi@zaiko.kyushu-u.ac.jp